

OATGA27 人体生理学特論

1.0 単位, 1 年次, 春A 木4,5

小金澤 禎史, 櫻井 武, 國松 淳, 山田 洋, 征矢 晋吾

授業概要

人体機能のメカニズムに関する様々なトピックを解説する。

目標: 人体機能のメカニズムについてさまざまな観点から論じることができる。

備考

英語で授業。

オンライン(オンデマンド型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

1. 基礎知識の活用力

授業の到達目標 (学修成果)

人体機能のメカニズムについてさまざまな観点から論じることができる。

キーワード

血液循環, 呼吸, 睡眠, 低代謝, 随意運動, 神経経済学, 扁桃体, 恐怖条件付け, 社会性, オキシトシン

授業計画

人体機能のメカニズムに関する様々なトピックを学習する。

第1回 【(4月18日4時限) 小金澤禎史 医学医療系】

循環の調節

第2回 【(4月18日5時限) 小金澤禎史 医学医療系】

呼吸の調節

第3回 【(4月25日4時限) 櫻井武 医学医療系】

睡眠覚醒の制御機構

第4回 【(4月25日5時限) 櫻井武 医学医療系】

能動的な低代謝を制御する神経機構

第5回 【（5月2日4時限）國松淳 医学医療系】
随意運動の制御(1)

第6回 【（5月2日5時限）國松淳 医学医療系】
随意運動の制御(2)

第7回 【（5月9日4時限）山田洋 医学医療系】
意思決定の神経経済学(1)

第8回 【（5月9日5時限）山田洋 医学医療系】
意思決定の神経経済学(2)

第9回 【（5月16日4時限）征矢晋吾 医学医療系】
情動の神経機構

第10回 【（5月16日5時限）征矢晋吾 医学医療系】
社会行動を制御する神経メカニズム

履修条件

なし

成績評価方法

下記の基準によるレポートの採点に基づいて評語(A+~C)にて評価する。

A+: 下記Aの要件に関して、特に優れた独創的かつ論理的な説明がなされている。

A: 下記Bの要件に加え、自身の考えについての論理的な説明がなされている。

B: 下記Cの要件に加え、自身で調べた周辺知識に関する内容の論理的な説明がなされている。

C: 講義で得た知識について論理的な説明がなされている。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業はすべて講義(100%)で実施する。

授業後には必ず復習すること。

教材・参考文献・配付資料等

適宜Manabaで資料を配布する。

オフィスアワー等（連絡先含む）

随時（メールで予定を確認のうえ、訪問すること）

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

2/3以上の出席およびC以上の基準を満たすレポートの提出を単位取得要件とする。
授業はオンラインで行います。詳細については、manabaから連絡します。

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）